

いわむら路地カラゼミ 2023

岩村古絵図から始める 未来のまちづくり

古い地図にはミライがあります。
未来の岩村のために古地図で「温故知新」しませんか。
本年約250年前の「岩村城下町 考証イラスト」が完成しました。
その歴史考証を担われた三宅先生のお話は、
250年前の城下町の地図の世界にタイムスリップさせてくれます。また岩村には今から約100年前大正時代の詳細な町並み地図が現存します。そこには多様ななりわいがあり人々の賑わいがあり、ざわめきが聞こえます。
岩村路地カラ研究会では昨年には岩村城下町の路地地図を作成し、現在100年前の地図を復刻準備中。
木村先生からは、路地からの町づくりで活性化した全国の事例とノウハウをお話しいたします。



参加
無料

歴史考証イラスト・18世紀後半の岩村城下町
作画：香川 元太郎氏

開催日 2023年 **12/10** 日

時間 10:00~12:00 路地歩き
14:00~17:00 講演会
17:00~ 交流会(有料)

会場 cafe HYAKKEI
(岩村町本町5丁目)



Google Map

ゼミ

- 1 いわむら路地歩き(ガイド付き)
- 2 講演「250年前のまちづくりと暮らし」
- 3 講演「路地から始まるまちづくり事例」

講師紹介

恵那市教育委員会 ただよし 三宅 唯美氏 共著「東海の名城を歩く」ほか	全国路地のまち連絡協議会 こういく 事務局長 木村 晃郁氏 共著「路地からのまちづくり」ほか
---	--

本事業は、恵那市まちづくり事業の一環で実施しています

岩村の古い写真お貸しください

100年前といえば関東大震災から昭和恐慌の頃。そのころの岩村のようすはどうだったのでしょうか？ 今から20年前に西尾精二さんが2年間にわたり古老から聞き取り書き留められた地図があります。それによると、辻々には木戸があり、映画館、カフェや歌舞伎座、銭湯、旅籠や料理屋、髪結いなどが至る所にあり、活気にあふれていました。そんな大正から昭和初期の写真を集めています。大きな地図にちりばめて地元や観光客に印刷無償配布したいと思います。

12月10日当日お持ちいただくか、以下までご連絡をお願いします。



参加型
デジタルMAP

主催

いわむら城下町 路地カラ研究会
代表 布目裕貴
<https://rojikara.jp>

連絡先
申込先



ぬのめ屋(観光協会 向かい)
080-4222-8665
rojikara.jp@gmail.com

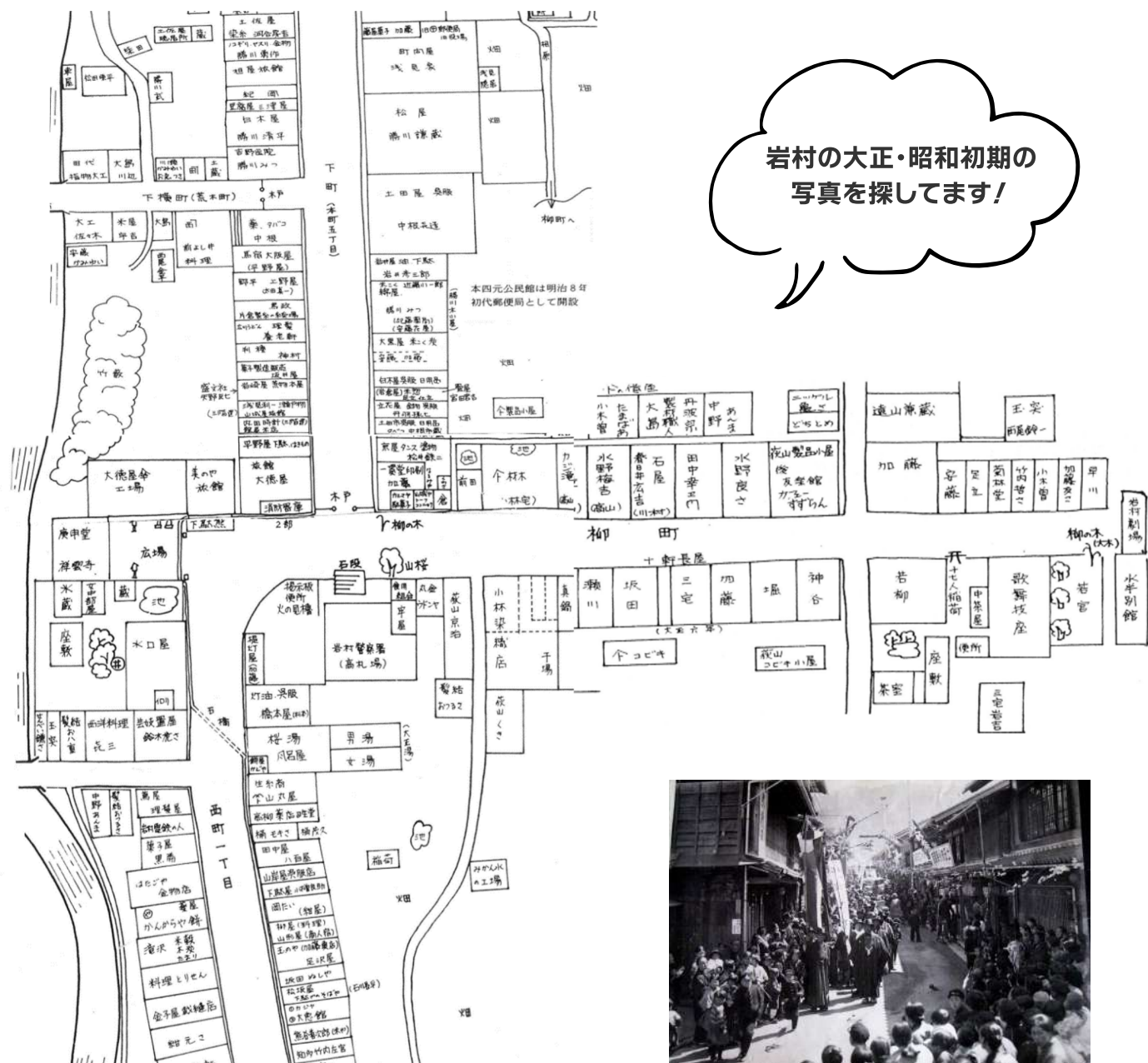
大正時代・岩村城下の町並み図

繁栄をしていた町並みの様子を後世に残したい



岩村の町並みが大変に賑わっていた頃の、明治、大正、昭和初期の様子を後世に伝えることが大切だと常々思っていましたので、昭和59年から一年余かかって町並みの聞き取り調査を自主的に行いました。本町一、二丁目は西尾圭三様をお願いをいたしました。本町三丁目から岩村電鉄の駅までについては西尾精二が担当して、当時領家在住の西尾一枝さんに(明治40年生まれ)ご無理を言って、広告の裏にメモってもらい、一週間ぐらいの間隔で訪問しては次々と原稿が出来、その原稿を各町内の古老に校正をお願いして回って次第に固いものになってきました。開始から二年近く経過した頃、時の岩村町商工会長中根利助様の励ましと、ご理解によって町並み図が活字化されました。岩村町史の天保年間、町方家並帳以降の記録がありません。特に今回、岩村の明治、大正、昭和初期の賑わいの様子を後世に残す記録になり、何かに役立つことと信じています。写真は当時領家在住の西尾一枝さんです。(町並み図作成責任 西尾精二)

※「歴史掘り起し読本いわむら」1巻p130-136より



この約2倍の大きさに拡大されます。あくまでイメージです。